

大阪府登録文化財所有者の会

| | |
|-------|--|
| 代表者 | 会長 畑田 耕一 |
| 所在地 | 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-50-25 |
| 設立年月日 | 2005年9月4日 |
| URL | http://www.culture-h.jp/tohroku-osaka/ |

【設立趣旨】

登録文化財の件数が全国一である大阪で、歴史遺産を大切にすることは、資源を節約する心の育成や啓蒙につながり、まちづくりにおいても伝統文化の継承・発展による歴史と文化が生きづく元気な大阪の再生、さらには、市民との交流や観光振興にも十分貢献できると考え「大阪府登録文化財所有者の会」を設立しました。

【組織】

大阪府の登録有形文化財（建造物）519件（平成21年9月1日現在）

| | |
|-----|--|
| 会員数 | 正会員 91名（所有者） 特別会員 17名（所有者以外） |
| 役員 | 会長 畑田 耕一（羽曳野市 畑田家住宅所有者） 副会長 別所 俊顕（大阪市中央区 少彦名神社所有者） 寺田 信正（柏原市 寺田家住宅所有者） 岡本 義彦（貝塚市 岡本家住宅所有者） 事務局長 寺西 興一（大阪市阿倍野区 寺西家長屋等所有者） 会計 南川 孝司（貝塚市 南川家住宅所有者） 監査 兒山 万珠代（堺市中区 兒山家住宅所有者） 林 義久（前大阪府教育委員会 文化財保護課職員） |

予算規模

平成21年度予算 2,651,644円（平成20年度 決算 2,870,750円）

【活動目的】

- 登録文化財の保存と活用に係る活動を行い、市民の文化的資質の向上を図り、もって世界人類の幸福に貢献する。
- 会員相互の親睦と登録文化財に関する情報交換を図るとともに、市民との交流に努める。
- 全国の登録文化財所有者等との連携を図り、将来的に「全国登録文化財所有者の会」への発展を目指す。

【活動上の課題と今後の展望】

1、活用支援団体の育成：登録文化財を継続的に活用するためには、活用保存会、専門家集団などの支援団体が必要であり、それらを行政が精神的かつ物的にバックアップし、育成することが必要である。行政は、文化財を教育実習に取入れたり、また、活用事業に対し、「市政だより」などでの広報活動や備品の貸出及び人材の支援を行なうことが望まれる。また、一つの活用事業に対し5万円程度の支援をするだけでも活用の輪が大きく広がる。

2、若者の参画：文化財の活用に関わる人は、年配の人が多いのが現状で、今後、文化財の活用を発展させていくためには、若者との交流の機会をもつこと、また、小学校をはじめとする学校教育の中での文化財見学会や出前授業を行うことによって、文化財に興味を持ってもらうことが必要である。

3、文化財登録件数の拡大：日本文化を発展させるためには、先進諸国のように登録文化財の件数を数十万件にすることが必要であり、そのためには、文化行政に携わる職員の増大と登録システムの効率化が必須である。



丹比小学校生の見学とおしゃべり会（畑田家住宅）



小学生の昭和初期の生活体験学習（南川家住宅）



伝統工法「焼板づくり」（兒山家住宅）



和の静寂で聴くオペラのアリア（畑田家住宅）

【活動実績】

| 年月 | (実施内容) | (講演者等の所属、役職は当時で敬称略) | (支援) |
|----------|---|---|------|
| 平成17年9月 | 設立総会（大阪市中央区 少彦名神社） (講演) 登録文化財とまちづくりについて | 文化庁 文化財部参事官 江面嗣人 | |
| 平成18年9月 | 第2回総会（大阪市平野区 大念佛寺） (講演) 平野郷のまちづくりのお話 (講演) 伝統建築物の耐震構造について (講演) 登録文化財と税制 | 真言宗全興寺 住職 川口良仁 京都大学 講師 西澤英和 大阪府文化財保護課 林義久 | |
| 平成18年11月 | 登録文化財所有者のアンケート調査 | | *士会 |
| 平成19年9月 | 第3回総会（大阪市中央区 芝川ビル） (講演) 地域を活かしたまちづくり (講演) 芝川ビルの改修について (講演) 佐保会館の改修について (講演) 小学校での伝統的木造住宅のお話 | 北船場くらぶ 代表 澤田 充 千島土地株式会社 社長 芝川能一 石井智子美建築設計事務所 所長 石井智子 会長 畑田耕一 | |
| 平成19年12月 | 登録文化財 堺市内体験バスツアー（小谷城他） | 堺市教育委員会 学芸員 井深明 | *士会 |
| 平成20年8月 | 冊子「大阪府の登録文化財（2008年版）」発行 | | *士会 |
| 平成20年9月 | 第4回総会（貝塚市 願泉寺） (講演) 願泉寺の歴史と改修工事について | 願泉寺 住職 卜半了顕 | |
| 平成20年9月 | 「どないする？文化財の活用とかかるお金」H20年度文化庁委託事業に選定 | | *文化 |
| 平成20年10月 | 一般公開と水墨画展及び川-にが演奏（山田家住宅） | 向井俊生、尾崎孝次 | *文化 |
| 平成20年11月 | 「ファミ」[少子化をめぐる話題]（畑田家住宅） | 大阪大学名誉教授 岡田伸太郎 | *文化 |
| 平成20年11月 | 上方落語「田辺奇席」の開催（寺西家住宅） | 桂文太、桂都丸、笑福亭生喬、桂三四郎 | *文化 |
| 平成20年11月 | 寺田家、三田家住宅（重文）一般公開（寺田家住宅） | 平谷宗晴 | *文化 |
| 平成20年11月 | 一般公開と手織り展及びかかげ演奏（山田家住宅） | 菅野正子、坂田勉他 | *文化 |
| 平成20年11月 | 伝統工法「土壁塗り」（兒山家住宅） | 左官 西井良雄 | *文化 |
| 平成20年12月 | 丹比小学校生の見学とおしゃべり会（畑田家住宅） | 畑田勇他 | *文化 |
| 平成21年2月 | 伝統工法「焼板づくり」（兒山家住宅） | 大工 谷口昇 | *文化 |
| 平成21年2月 | 小学生の昭和初期の生活体験学習（南川家住宅） | 地域の年配の主婦達 | *士会 |
| 平成21年3月 | 貝塚 春の町家鑑めぐり（岡本家住宅、南川家住宅他） | 岡本義彦他 | *文化 |
| 平成21年3月 | 貝塚 春の町家鑑茶会（南川家住宅） | 梅田正行、久世仁士 | *文化 |
| 平成21年3月 | 貝塚 町屋見学会（並河家、広海家、岡本家住宅等） | 摂河泉文庫 南川孝司 | *文化 |
| 平成21年3月 | 畑田家住宅を描いてみよう（畑田家住宅） | 宝塚造形芸術大学 教授 中村貞夫 | *士会 |
| 平成21年4月 | ファミ「イグネットを正しく使うには」 | 大阪大学前総長 宮原秀夫 | *士会 |
| 平成21年6月 | 和の静寂で聴くオペラのアリアと唄の「かかげ」演奏（畑田家住宅） | ソプラノ歌手畑田弘美、ピアノ演奏吉山輝 | *士会 |
| 平成21年7月 | 「学校教育における登録文化財の活用」H21年度文化庁委託事業に選定 | | *文化 |
| 平成21年8月 | 第5回総会（柏原市 柏原市立歴史資料館） (講演) どないする？文化財の活用とかかるお金 | 会長 畑田耕一、事務局長 寺西興一 | |

(注) 支援*士会：大阪府建築士会の地域貢献事業 *文化：文化庁の委託事業として支援を頂きました

登録文化財を維持管理していく上での問題点（複数回答）

| | | |
|----------------------|-----|-------|
| 1. 維持管理に費用がかかる | 63件 | 73.3% |
| 2. 修繕を頼める技術者が見つからない | 11件 | 12.8% |
| 3. 修繕の材料が手に入りにくい | 20件 | 23.3% |
| 4. 老朽化や耐震性に不安がある | 22件 | 25.6% |
| 5. 所有者の高齢化や後継者の問題がある | 56件 | 65.1% |
| 6. 周辺地域の環境が悪くなっている | 13件 | 15.1% |
| 7. 相談できる専門家がいない | 11件 | 12.8% |
| 8. 特に問題はない | 11件 | 12.8% |
| 9. その他 | 6件 | 7.0% |
| 10. 無回答 | 2件 | 2.3% |